

鈴鹿8耐に歓声

中区でパブリックビューイング

浜松市内外でランニング教室などを展開するスポーツマネジメント会社「TOMORUN(トモラン)」は29日、中区の多目的施設「Any(エニィ)」



レースファンらが集まったパブリックビューイング。浜松市中区の「Any」

で鈴鹿8時間耐久ロードレースのパブリックビューイングイベント「鈴鹿8耐久フェ」を人がレース展開を真剣な表情で見守った。開発途上国の生産品を適正価格で取引するフェアトレード運動を推進する静岡文化芸術大学の学生らの団体「タバボラ」も出店し、コーヒーやサンドイッチを振る舞った。

同社の中川智博代表

はススキの元社員。レースの販促を担当していたため、ファンになったという。県西部にはススキやヤマハ発動機などバイクメーカーがあり、レースにも関心を持つてほしいと企画した。今年で2回目。中川代表は「バイクのふるさととして誇りをもち、みんなで浜松を盛り上げていけたら」と話した。